

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～

米ドル・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／
日本円・コース（毎月分配型）／南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）／トルコ・リラ・コース（毎月分配型）／
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

分配金のお知らせ

2020年1月15日

平素は、『ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドシリーズを構成する各コースは、2020年1月14日に決算を迎え、「日本円・コース」、「豪ドル・コース」および「南アフリカ・ランド・コース」につきましては分配金を見直し、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

「米ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金につきましては、前回決算と同額と致しました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続き引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	米ドル・コース	豪ドル・コース	ブラジル・リアル・コース	日本円・コース	南アフリカ・ランド・コース	トルコ・リラ・コース	通貨セレクト・コース
当期決算 分配金	80円	40円	20円	20円	60円	50円	50円
（前期決算 分配金）	（80円）	（60円）	（20円）	（30円）	（90円）	（50円）	（50円）
基準価額 2020年1月14日現在	10,440円	4,730円	3,172円	8,072円	6,162円	3,390円	4,783円

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。（後述のファンドの費用をご覧ください。）

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

『ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

Q1 なぜ、「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、および「南アフリカ・ランド・コース」の分配金を見直したのですか？

現在の配当等収益、分配対象額の状態および基準価額の水準などを考慮した結果、今後も継続した分配を行い、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状態、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、および「南アフリカ・ランド・コース」の分配金を見直したのは、現在の配当等収益、分配対象額の状態および基準価額の水準などを考慮した結果によるものです。

第95期決算（18/9/12）において、「日本円・コース」は分配金を従来の50円から30円に見直し、第99期決算（19/3/12）において、「豪ドル・コース」は分配金を従来の100円から60円に見直しました。また、「南アフリカ・ランド・コース」は第3期決算（12/10/12）以降、90円の分配金を継続してまいりました。

しかし、各コースの分配金について、期中のインカム性収益を超える額は過去の蓄積等から充当してまいりました。その結果、分配対象額は徐々に減少してきております。

このような状況を踏まえ、今後も継続的な分配を行い、信託財産の成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。今回、分配金を見直したことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

■ 基準価額・純資産・分配の推移

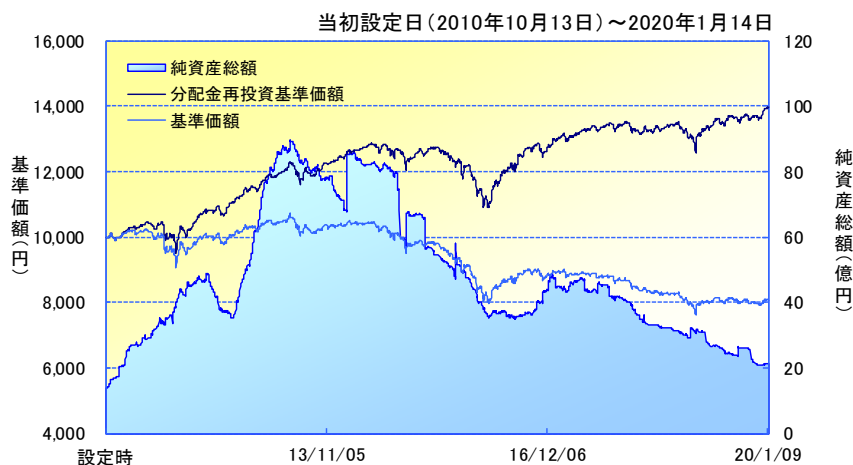
■ 日本円・コース

2020年1月14日現在

基準価額	8,072円
純資産総額	21億円

《分配の推移》（1万口当たり、税引前）

決算期	（年/月/日）	分配金
第1～106期	合計:	4,960円
第107期	(19/9/12)	30円
第108期	(19/10/15)	30円
第109期	(19/11/12)	30円
第110期	(19/12/12)	30円
第111期	(20/1/14)	20円
分配金合計額	設定来:	5,100円
	直近5期:	140円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産・分配の推移

豪ドル・コース

2020年1月14日現在

基準価額	4,730円
純資産総額	9億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～104期	合計:	9,960円
第105期	(19/9/12)	60円
第106期	(19/10/15)	60円
第107期	(19/11/12)	60円
第108期	(19/12/12)	60円
第109期	(20/1/14)	40円
分配金合計額	設定来:	10,240円
	直近5期:	280円



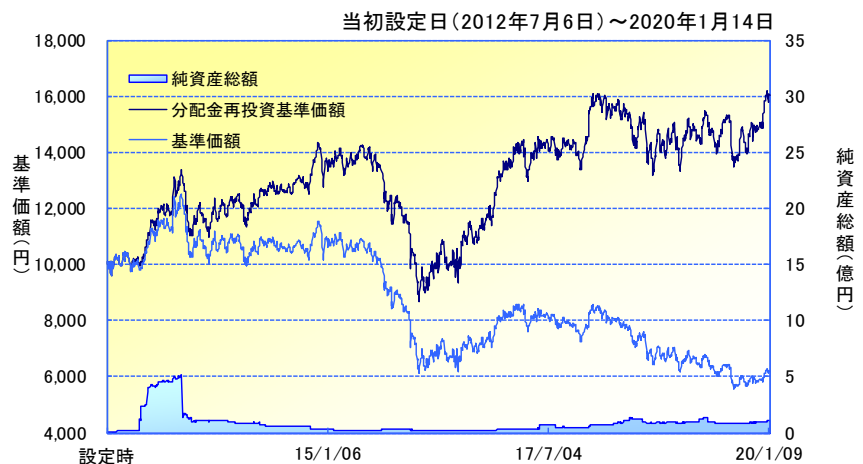
南アフリカ・ランド・コース

2020年1月14日現在

基準価額	6,162円
純資産総額	1億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～85期	合計:	7,470円
第86期	(19/9/12)	90円
第87期	(19/10/15)	90円
第88期	(19/11/12)	90円
第89期	(19/12/12)	90円
第90期	(20/1/14)	60円
分配金合計額	設定来:	7,890円
	直近5期:	420円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

Q2 分配金はどのように決定したのですか？

分配金は、収益分配方針に基づいて決定します。将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束することはできませんが、今後ある程度の期間にわたって継続した分配を行えるよう配慮しています。

各コースの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後ある程度の期間にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の見直し要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはできないのですか？

決算日（毎月12日、休業日の場合は翌営業日）の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日（毎月12日、休業日の場合は翌営業日）に、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準、市場環境等を勘案して委託会社（大和投資信託）が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

なお、委託会社のホームページ（<https://www.daiwa-am.co.jp/>）では、夕方から夜にかけて基準価額とともに分配金を公表しますので、そちらをご参照ください。

Q4 分配金を引き下げるということは、今後の運用に期待できないということですか？

分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

今回の「日本円・コース」、「豪ドル・コース」および「南アフリカ・ランド・コース」の分配金引き下げについては、現在の配当等収益、分配対象額の状況および基準価額の水準などを考慮し、決定しました。

したがって、今回の分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン（総収益率）で確認する必要があります。引き続きパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

Q5 最近の投資環境と今後の見通しについて教えてください。

2019年3月中旬以降、米国ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。米中貿易問題に対する懸念の強まりなどを背景に軟調に推移する局面も見られたものの、FRB（米国連邦準備制度理事会）をはじめとするグローバルな金融緩和環境の継続や、おおむね良好な発行体企業のファンダメンタルズが相場を下支えしました。

為替市場では、豪ドルおよび南アフリカ・ランドはともに対円で下落しました。米中貿易問題の長期化などから、円高傾向での推移が優勢となりました。

【米国ハイ・イールド債券市況】

米国ハイ・イールド債券市場（2019年3月11日～2020年1月10日）は上昇しました。

春先から夏場にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念の再燃や米国とメキシコ間の貿易問題を受けてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が一時拡大する局面が見られたものの、FRBによる利下げやECB（欧州中央銀行）の金融緩和姿勢が支援材料となり、底堅く推移しました。その後も、米中貿易問題の懸念の高まりに伴う市場のリスクセンチメントの悪化を受けてスプレッドが拡大する局面はあったものの、秋口以降は米経済指標の持ち直しを受けて米国経済の底堅さが確認されたことや、12月には米中貿易交渉の第一段階の合意を受けた市場のリスク回避姿勢の後退を背景にスプレッドは大幅に縮小し、年末にかけて堅調な推移となりました。

米国ハイ・イールド債券発行企業のファンダメンタルズはおおむね良好であるとみています。グローバル経済の低迷により利益成長率が鈍化する環境下にあっても、過度なレバレッジの高まりは見られず、また、足元で見受けられるデフォルト（債務不履行）率の小幅な上昇についても、あくまで特定のセクターにとどまっており、市場全体に波及する蓋然性は低いものとみています。一方で、米中貿易摩擦の不透明感や米国大統領選を控える中で市場のボラティリティが高まる可能性があるため、よりディフェンシブなセクターや個別銘柄に焦点を当てたポートフォリオ構築が重要になると考えています。当ファンドでは引き続き、ボトムアップ分析による銘柄選別を重視し、相対的に安定した収益の獲得を目指して運用を行う方針です。

【各コースの金融市況】

（日本円・コース）

○短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。

FRBは政策金利の誘導目標レンジを3回、合計0.75%ポイント引き下げ、1.50～1.75%としました。

※米国ハイ・イールド債券市況のコメントは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社であるJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【各コースの金融市況】

(豪ドル・コース)

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。長引く米中貿易問題が重しとなり、円高方向での推移が優勢となりました。また、グローバルに金融緩和方向への傾斜が強まる中で、RBA（豪州準備銀行）でも複数回の利下げが実施され、さらにロウ総裁から2020年の追加金融緩和を示唆する発言がみられたことなどから、それらを織り込む形で、豪ドルには下落圧力が強まりました。

○短期金利市況

RBAは政策金利を3回、合計0.75%ポイント引き下げ、0.75%としました。

FRBは政策金利の誘導目標レンジを3回、合計0.75%ポイント引き下げ、1.50～1.75%としました。

(南アフリカ・ランド・コース)

○為替相場

南アフリカ・ランドは対円で下落しました。長引く米中貿易問題が円高圧力として働いたほか、南アフリカの財政に対する懸念が続いていることなどが重しとなり、南アフリカ・ランドは対円で軟調な推移となりました。

○短期金利市況

南アフリカ準備銀行は政策金利を1回、0.25%ポイント引き下げ、6.50%としました。

FRBは政策金利の誘導目標レンジを3回、合計0.75%ポイント引き下げ、1.50～1.75%としました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

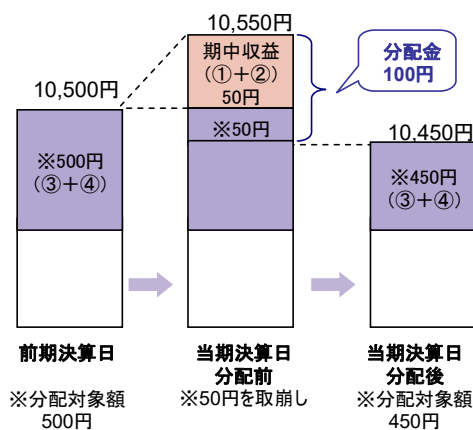
投資信託の純資産

分配金

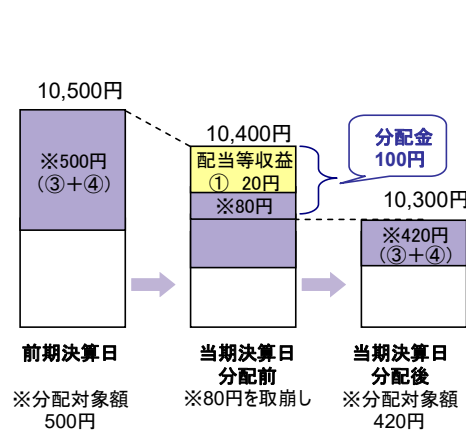
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



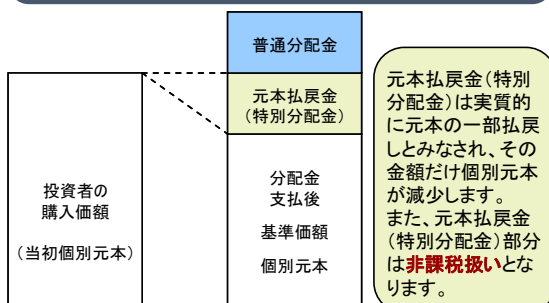
前期決算日から基準価額が下落した場合



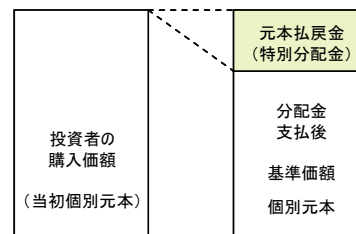
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

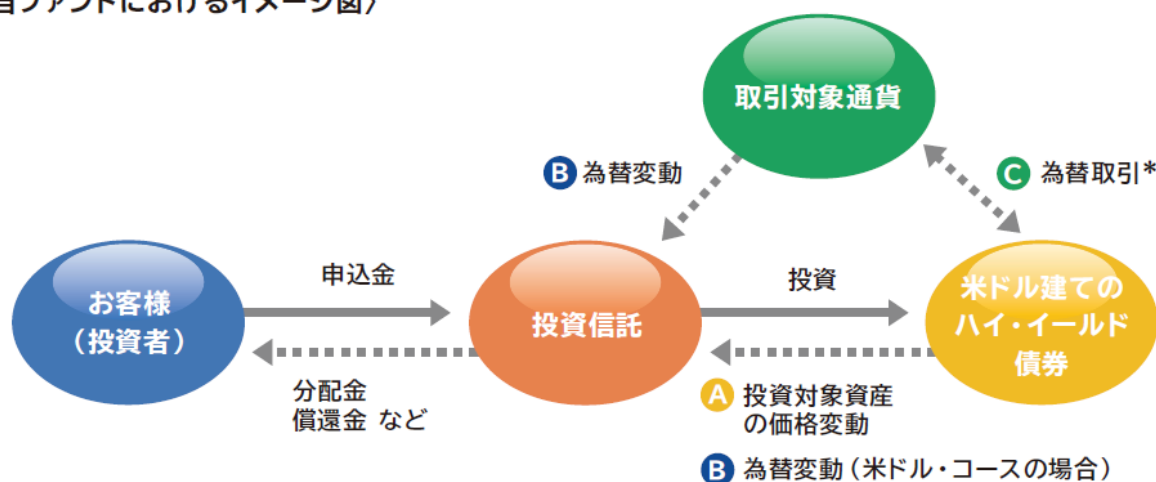
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

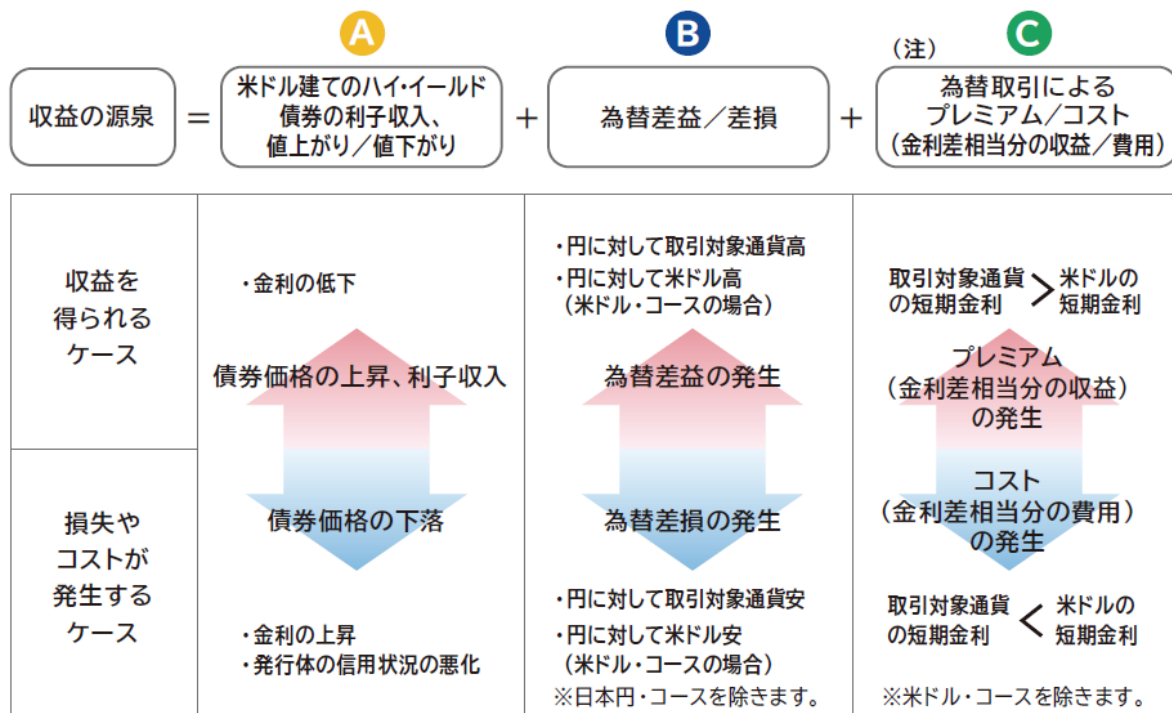
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

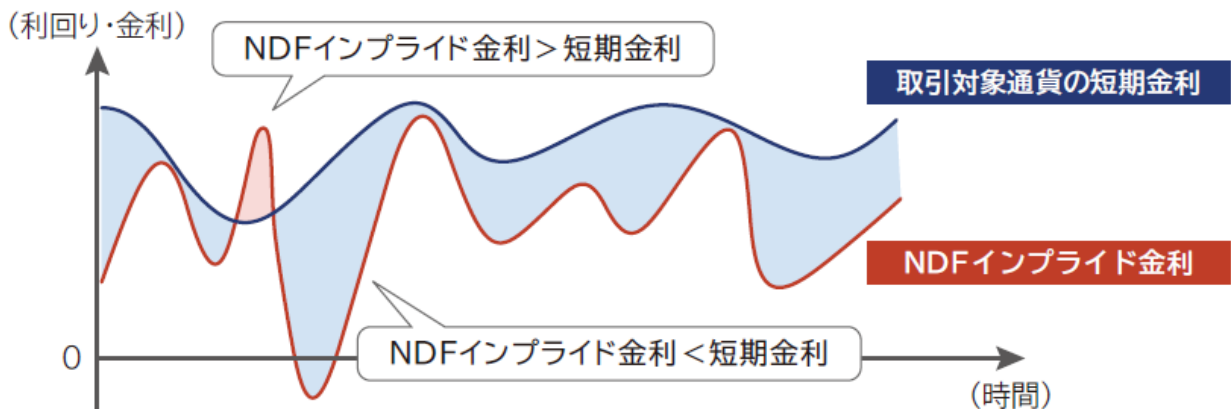
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

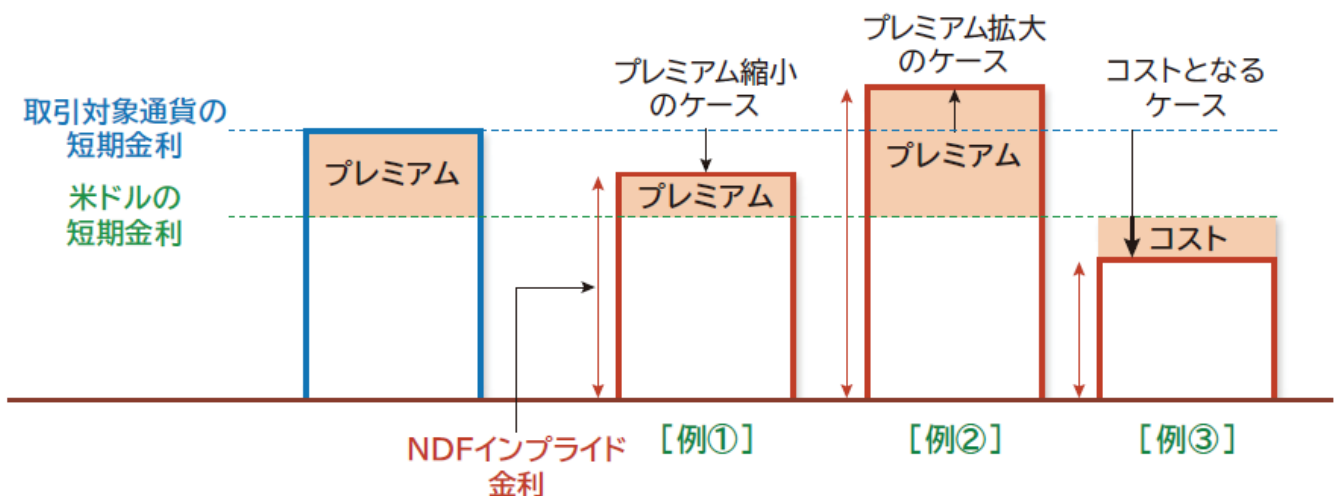
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての高金利社債^(※)に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

(※) 以下「ハイ・イールド債券」といいます。

ファンドの特色

1. 米ドル建てのハイ・イールド債券に投資します。
2. 為替取引の対象通貨が異なる 7 つのコースがあります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース		
豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル(注1)
ブラジル・レアル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買い	ブラジル・レアル(注1)
日本円・コース	為替ヘッジを行いません。 (米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買い(注2))	日本円
南アフリカ・ランド・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド(注1)
トルコ・リラ・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買い	トルコ・リラ(注1)
通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨(注3)買い	選定通貨(注1)

※7つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

(注 1) 円に対して取引対象通貨高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して取引対象通貨安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注 2) 為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

(注 3) 選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、FTSE 世界国債インデックスおよび JP モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。

なお、選定した通貨のうち、投資顧問会社が為替取引を行なうことができない通貨があった場合、投資顧問会社は次に金利が高い通貨を選定します。

米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行ないません。

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称	
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)	米ドル・コース (毎月分配型)	米ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	豪ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)	ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	ブラジル・レアル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)	日本円・コース (毎月分配型)	日本円・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	トルコ・リラ・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」とします。

3. 毎月 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

◆J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用する外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

〈「米ドル・コース、日本円・コース」以外のコース〉

取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

〈米ドル・コース〉

組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

〈日本円・コース〉

為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLC は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3% (税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.188% (税抜 1.08%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	(米ドル・コース)・・・年率 0.58%程度 (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外)・・・年率 0.59%程度 (通貨セレクト・コース)・・・純資産総額に応じて 100 億円以下の部分：年率 0.74%程度 100 億円超の部分：年率 0.69%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	(米ドル・コース) 年率 1.768% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) 年率 1.778% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (通貨セレクト・コース) 年率 1.928% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～米ドル・コース（毎月分配型）／トルコ・リラ・コース（毎月分配型） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。